

令和6年度第1回山口県教科用図書選定審議会議事録

日 時 令和6年4月25日(木)

午後1時30分から午後3時20分まで

場 所 県庁4階 共用第2会議室

発言者	内 容
事務局 審議監 各委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和6年度第1回山口県教科用図書選定審議会」を始める。 ・県教育委員会挨拶（渡邊審議監） ◆各委員 自己紹介 ・委員の任命について ・本日の会議について ・配付資料について ・旅費等について
課 長	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育諸学校用教科用図書の採択の仕組みについて ・教科用図書選定審議会所掌事務について ・教科用図書採択関係法令及び山口県教育委員会規則について
事務局 各委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・説明について質問はないか。 ◆（特に意見なし） ・山口県教科用図書選定審議会規則第3条によって、本会の会長・副会長の選出に移る。御意見を伺いたい。
各委員 事務局 課 長	<ul style="list-style-type: none"> ◆（特に意見なし） ・事務局案を示してよろしいか。 ・事務局としては、会長を山口大学教育学部副学部長の松岡勝彦委員に、副会長をやまぐち総合教育支援センター教育支援部長の井村博文委員にお願いしたいと考えている。
事務局 各委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局案で承認いただけるか。 ◆拍手により承認 ○会長、副会長、席の移動（前の席へ）
会 長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ◆会長挨拶 ・職務代理者について
会 長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ◆岩国市教育委員会の教育長守山敏晴委員を指名する。 ・ここで、山口県教育委員会より教科用図書選定審議会に対して諮問を行う。
会 長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ◆受領 ・松岡会長に対する司会・進行のお願い
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ◆ただ今から審議に入る。まず、本審議会への諮問内容について、事務局から説明願いたい。
課 長	<ul style="list-style-type: none"> ・選定審議会への諮問内容について説明 1 義務教育諸学校における令和7年度使用教科用図書の採択の基準について 2 採択関係者に提示する令和7年度使用教科用図書の選定に必要な資料について
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ◆諮問内容と本日の審議会の審議内容について何か質問はないか。

各委員 事務局	◆（特に意見なし） ・一般図書等を展示しているので、休憩中に御覧いただきたい。
会 長	◆今年度の「採択の基準」や「選定資料」について、事務局から素案を説明願いたい。
事務局	◎事務局から資料配付 ・「義務教育諸学校における令和7年度使用教用図書の採択の基準及び選定に必要な資料について（素案）」、「令和7年度使用中学校用教科用図書選定資料（素案）」、及び「令和7年度使用一般図書（一般図書（特別支援学校・学級用））選定資料（素案）」について各資料を使って説明 ・今年度からの変更について、様式1「ウ 使用上の便宜」の3番目に「多様性への対応や配慮」の項目を設けた。また、「エ その他」の3番目に「デジタル化・情報化等に関する特徴」の項目を設けた。 ・研究調査は、教科書の紙の部分についてしっかり行うことを基本とする。
会 長	◆素案について項目を区切って審議していく。 まず、素案のⅠの1「義務教育諸学校の教科用図書（一般図書（特別支援学校・学級用）を除く）の採択について」の項目で質問はないか。
会 長	◆他に意見はないか。
各委員	◆（特に意見なし）
会 長	◆次は、Ⅰの2「一般図書（特別支援学校・学級用）の採択について」の項目で質問、意見はないか。
各委員	◆2（1）イについて令和6年度と書かれているが、令和7年度と言われたと思うが、どちらか。
事務局	・令和6年度使用が誤っている。令和7年度使用が正しい記載である。事務局として訂正する。
会 長	◆他に意見はないか。
各委員	◆（特に意見なし）
会 長	◆Ⅰの3「教科用図書の採択に当たり特に留意すべき事項について」の項目で質問や意見はないか。
委 員	◆3（2）について、「発行者の勧誘・宣伝行為等によって」とあるが、県内でそうした事例があるか。
事務局	・把握していない。近年そのような勧誘等はない。
会 長	◆他に意見はないか。
各委員	◆（特に意見なし）
会 長	◆Ⅱの1（1）「中学校用教科用図書採択における選定資料」について質問、意見はないか。
委 員	◆（1）の「エ その他」について、最初の○の「他学年の内容や中学校との関連にみられる特徴」とあるが、中学校の教科書なので、中学校との関連ではなくて、小学校や高等学校になるのではないかと思ったがいかがか。
事務局	・その通りである。「他学年や他校種の内容等との関連にみられる特徴」と訂正したいと考えているが、いかがか。

会 長 事務局	◆他校となると幼稚園や大学も入ってくる可能性もあると思うがよろしいか。 ・広く「他校種」とするのがよいか、限定して小学校や高等学校と絞った方がよいか。
会 長	◆似たような表記が他にあるか。そこと統一を図るとよいと思うが。 この箇所については、ご指摘を踏まえて中学校以外を指す表現にするということで事務局に検討してもらい、二回目の選定審で回答することは可能か。
事務局	・調査研究する視点になるため、本日はっきりさせたい。前回の資料等で確認するので少々時間をいただきたい。
会 長 委 員	◆議事を先に進める。Ⅱの1について他に意見はないか。 ◆（3）二つ目の○について、中学校であるため、「児童一人ひとり」ではなく「生徒一人ひとり」でよいのではないか。他にも「児童」と「生徒」の使い分けで気になるところがある。
事務局	・確認して、生徒で統一する。
会 長	◆他に該当箇所が見つかるかもしれないので、修正していただく。 他に意見があるか。
委 員	◆二点ある。一点は、デジタル教科書の説明を再度聞きたい。もう一点は、 （1）の「エ その他」の「デジタル化・情報化等に関する特徴」について調査員がこれから記載できるようにしているということと、併せて紙の部分についてしっかり調査するということがあったが、これはどのように捉えるのか。教科書の二次元コードの内容については触れなくてよいということで、紙の教科書を使用するときにはデジタル化とどう関連付けるかということ調査研究するということなのか、教えてほしい。
事務局	・デジタル教科書の見本本が届くのは関係機関に問い合わせたところ、6月以降になりそうであるということ。調査員に研究調査していただく期間には間に合わない。そのことを踏まえて、選定資料にデジタル教科書の機能については特別取り上げないと考えている。二次元コードについては、特徴があれば記載できるようにしている。あくまで文部科学省が示しているように教科書は紙の部分についてであるということ。文部科学省は検定する際、紙の部分を検定しているとのことである。我々も研究調査の際には紙の部分を見て採択するということが原則であると考えている。二次元コードについては、この度100点余りの教科書が検定に合格しているが、そのうちのほとんどに二次元コードが示されている。また、二次元コードの数だけでなく、二次元コードを読み取った先にあるものについても、会社によって様々な状況である。文部科学省としては、その先まで追いかけてみることは実務的に難しいことから、紙の部分について調査するとなっていると認識している。しかし、我々は採択に関する選定資料を作成していただくことから、二次元コードを扱わないことはできないと考えている。調査員の人数も限られていることから、確認できる範囲で確認していく中で、特徴が見付ければ、この「デジタル化・情報化等に関する特徴」に記述することで、参考になる情報を市町教委や県立学校に届けることができるのではないかと考えているが、いかがか。

会 長	◆よろしいか。
委 員	◆よい。
委 員	◆資料⑨の文書で書かれている具体的な特徴があり、文章で言えば「デジタル化・情報化等に関する特徴」であり、もう一つは補助資料に具体的な数字がある。例えば国語であれば、「デジタル資料関連ページ」が出てくるが、いくつあるか調べるということ。調査員が何個か調べて、特徴があれば文章で言語化していくという動きであるということによろしいか。
事務局	・その通りである。教科書会社はそれぞれ趣意書を出している。それには、会社の特徴的な内容を示している。それらを参考に特徴的であると示しているところの二次元コードの先を見る等により特徴を見付けていくというような作業になると考えている。
委 員	◆デジジー教科書はどの教科書も対応できていると考えてよろしいか。
事務局	・デジジー教科書については、この場で説明できる資料を持ち合わせていない。特別支援学校の先生でご存じの方がおられたら教えていただけるか。
事務局	・少し時間をいただき、調べて回答する。
会 長	◆デジジー教科書については、次回説明をお願いします。 他に意見はないか。
委 員	◆自分が調査委員であれば、ウの多様性への対応は、かなり具体的に言ってもらえないと書くのが難しいのではないかと感じたがいかがか。ユニバーサルデザインであれば、どんな人にも使いやすいとかで考えていけると思うが、多様性はどの部分を見たらよいか、書き方が様々になるのではないかが気になった。
会 長	◆多様性について例を挙げることは可能か。
事務局	・支援を要する生徒や外国籍の生徒等、全ての生徒が使いやすいことを考えている。例えば、教科書に、車いすに乗っている生徒が掲載されていたり、通常の教室内のイラスト等においても、全員が日本人というわけではなくて、外国の人もその中にいたりする等、いろいろな人が見ても違和感がないことを考えている。
会 長	◆ナイーブな問題なので慎重に進めていただきたい。 その他に意見があるか。
会 長	◆Ⅱの2「一般図書（特別支援学校・学級用）の採択における選定資料」に関して意見、質問はないか。
委 員	◆三種別について分けられている根拠は何か。また、24点である理由についても知りたい。
事務局	・三種別については、きれいに分けられない。大まかに音楽や言語であれば国語や英語、自然であれば理科や算数等に分けられている。24点については、実際に研究調査できる範囲ということも考えて、各分野8冊程度を考えている。それを複数年行うことでより多くの図書を研究できるという考え方である。
会 長	◆他に意見はあるか。 (2) エの初版年、版数、刷数、定価については、どのように考えたらよい

事務局	<p>か、補足の説明がほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初版の年や版数がどのくらい重ねられているかということや、値段の適性のことである。これを教科書として扱うため、版が重なっていただくと多くの人に活用されている根拠になる。定価については、価格についても選定の際の参考となるので示している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ◆版数を重ねるとそれだけ古くなるという相反することになるが、そのあたりも総合的に判断するというで理解してよろしいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・よい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ◆他に意見はないか。 <p>素案全体を通して何か意見はないか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ◆多様性のところで、前はユニバーサルデザインとなっていて、今回は多様性となっているが、このような視点については調査委員と共通理解を図られるということによろしいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りである。ここは使用上の便宜だから、使いやすさが中心になる。例えば、目立たせたいところが枠で囲んであるとか、色の工夫がしてあるとかその部分も含めてここに入ってくる。そのあたりは委員と共通理解して記述できるようにしていく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ◆貴重な提案であった。 <p>他に全体を通して意見があるか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ◆一般図書について、⑦の資料にたくさんあると思うが、その中から24点を選ばれており、これについて詳しく書いてあるということは分かったが、教科書のように24点の一般図書を閲覧することは可能か、教えてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめて置いているのが県庁13階の中央教科書センターである。そこには揃えている。その他になるとそれぞれ図書館で探してもらうことになる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ◆各市町教委に24冊を揃えておいてあるということはないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それはお願いしていない。教科書展示会においては中央教科書センターのみが揃えているという現状である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ◆24冊以外についてもそこにあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全てを網羅しているわけではないが、少なくとも近年調査したものであれば用意をしている。実際には、特別支援学校の先生方が来庁して閲覧することもある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ◆他に意見はないか。 <p>意見がこれ以上なければ、事務局の素案を基に本日の審議内容を加えて「採択の基準及び選定に必要な資料について」の原案を作成し、選定資料の原案の作成を依頼することにするということによろしいか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先程の質問について回答する。前回の中学校の採択の時の資料が右肩に⑧と書いてある資料の3ページに先程指摘をいただいた②の資料の3ページに対応するようになっている。それを確認すると、「エ その他」のところの一点目に「他学年や他校種との内容等との関連にみられる特徴」としている。そのことについて、現時点で支障をきたしてないため、同様の表現にさせていただきますと考えているが、いかがか。

会 長	◆先程の中学校の部分了他校種ということによろしいか。
委 員	◆よい。
会 長	◆それでは、その内容で願います。
	◆他にあるか。
会 長	◆資料①の7ページ「山口県教科用図書選定審議会規則」第6条で述べている「研究調査員」及び「研究調査員会」について事務局から説明願いたい。
事務局	・研究調査員会及び研究調査員の説明
会 長	◆研究調査員及び研究調査員会について質問はないか。
各委員	◆（特に意見なし）
会 長	◆事務局により示された案に従い、研究調査を行ってよろしいか。
各委員	◆拍手により了承
会 長	◆事務局案に従い、調査研究をお願いしたい。4月30日（火）と5月9日（木）に計画されている研究調査員会の運営については、事務局に願います。
	最後に今後の日程について事務局から説明してもらいたい。
事務局	・第2回選定審議会は、5月15日（水）に午前10時から県庁4階第2会議室で開催する。また、第2回の審議会で検討したものをもって、5月21日（火）に、松岡会長から、山口県教育委員会に対して答申がなされる予定である。
	・今後の日程についても願いたい。都合の悪い場合は、事務局まで連絡を願います。
会 長	◆審議をいただき感謝する。進行を事務局にお返しする。
事務局	・閉会行事を行う。
	・県教育委員会挨拶（林義務教育課長）